

(1)

皇工會報

第4号
 平成8年10月22日
 発行 日立工業高校同窓会
 発行者 同窓会事務局
 日立市城南町2-12-1
 ☎ 0294 (22) 1049

会長の挨拶

会長 小林 啓一



会員の皆さまには、元気に各分野でご活躍のことと拝察いたしました。

昨年は皆さまのご理解をいただき、同窓会として新しいバスを購入し、生徒達の部活動に役立つことができようになりました。さらに野球部の夜間のピッチング練習場などの整備もできました。あらためて会員の皆さまにご報告し御礼申し上げます。

去る六月二十九日、学校において平成八年度の皇工会の総会を開催し、会計・決算の報告ならびに諸事業の推進を訂正していただきました。

主なものは、在校生の部活動がより一層のびのび元気に励める体制をつくり、本校の名が茨城県を勿論、全国にとどろかすことができるように、過去の全国大会出場の際に会員をはじめ市民の皆さまのご協力いただいた基金を一本化すること。二つには同窓会の積立金の運用をしやすいうように改善すること。三つ目には学校PRパンフレットの作成についてその一部分を同窓会で負担すること。

(このパンフレットは、生徒募集や進路開拓に必要な学校案内書といった内容) 四つ目に、同窓会名簿を作成すること、現在の名簿は作成して依頼八年余を経過、この間の卒業生の名簿登載の必要性などです。より確かな名簿を作成するためには、各支部、同期クラス会の役員の方々の皆さまの協力が不可欠です。よろしく、お願い申し上げます。

昨年は校歌を作詞された関根七郎先生が逝去されました。この校

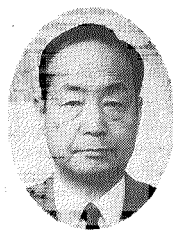
歌は甲子園に、サッカー球場において現在は県内の各球場で勝利した際に高らかに奏でられます。泉下の先生に深い思いをいたします。

また、今年八月には、第二代同窓会長の大谷哲也さんが急逝された大きな衝撃を受けました。永年にわたり同窓会の充実、発展に寄与され功績はまことに大きく、今日の同窓会の基礎をつくられました。生前のご活動に感謝申し上げます。と共に心からご冥福をお祈りいたします。

会員の皆さまのますますのご活躍と同窓会へのご協力をお願い申し上げます。

会報発行刊によせて

学校長 小祝 正盛



この度、会報が関係各位のご努力により発行の運びとなりましたことを心からお慶び申し上げます。また、小林会長はじめ会員の皆様には、日頃本校の教育活動につきまして、御支援御協力をいただき心から感謝申し上げます。

創立五十四年目を迎えました母校も、全定六百四十九名の生徒を擁し、名実ともに本県を代表する工業高校として活発な教育活動を行っているところであります。

さて、教育の規制緩和が各方面から提言される中、全国的に高校教育改革が急ピッチで進行しております。改革の目玉となっているのは、第三の学科といわれる総合学科と単位制高校です。本県でも間もなく開設されるでしょう。また私達工業高校も、「職業高校の活性化方策に関する調査研究会議」の提言を受け、職業高校の名称を専門高校に、専門高校から大学進学の袋小路を払拭する大学入学特別選抜制度の実施、スペシャリストへの道として専攻科の設置等全国的に改革が進んでおります。

本県の状況を見ますと、普通科志向、高学歴志向、そして生徒減少の中で、今春の新入生について定員に満たない学校が四十六校ありました。幸いにも本校はそのようなことがなく目的意識を持った生徒もたくさん入学致しました。

現在、進路指導の充実、資格取得のための指導、部活動の奨励を教育目標にかかげて実践しておりますが、今後、二十一世紀にむけてPR活動の推進、弾力的な教育課